



☆2学期の始まり。学習のリズムを取り戻していこう

夏休みが明け、2学期の学習がスタートしました。少しずつ2学期の学校生活に慣れてきている子どもたちですが、やる気はあるけれど、生活のリズムに体や心がついていけないということがあります。

さて、子どもたちは、家庭でどれくらい自分のことをしているでしょうか。身の回りのことを自分ですることは、子どもが自立するための第一歩です。学年によってできることは違いますが、自分のことは自分でする習慣をつけることが、学習のリズムを取り戻すきっかけになるかもしれません。

じぶんのことは、じぶんでしよう！ ～児童のみなさんへ～

2学期のスタートダッシュ！自分でできそうなことは、自分でやってみませんか？

自分が「これならできそう！」ということを見つけてみよう♪

- (例)
- ぬいだぶくを自分でたたむ。
 - 食べたあと、あらいものをしてかたづける。
 - 朝は自分でおきる。
 - 身の回りのせいりせいとんをする。
 - 学校に行くじゅんびを自分でする。
 - 毎日の時間の使い方を自分で考える。
 - ゲームやスマートフォンなどの使い方を、家族と相談して決める。



他にも、自分でできることを見つけて、やってみよう！自分に自信がつくといいですね♪

自分でしようとする気持ちから自立心をはぐくもう ～保護者のみなさんへ～

子どもが自分のことを自分でしようとするとき、初めはうまくできなくて、今まで手を貸してきた大人としては少し歯がゆいかもしれません。しかし、子どもは失敗と成功を繰り返しながら、自分で考え工夫することを学びます。子どもは、自分でできた達成感を味わうと、次も自分でやってみようと思うようになります。やがてそれは、身辺的自立とつながっていきます。将来の自立のために、できるだけ子どもの力を信頼し、勇気づけ、そして適度な距離から見守ってあげてみてください。

(奈良県立教育研究所 家庭教育 web ページより)

☆第二回うちっ子集会開催！

9月17日(木)に第二回うちっ子集会をしました。今回の目的は、自分のおすすめの本を紹介することによって、読書に親しみ、また、自分の思いや感想を伝え合う力をつけることでした。自分のおすすめの本を持ち寄り、グループになって本の作者やあらすじ、自分の思うおすすめポイントを上手に紹介し合うことができました。感想の中では、「読みたいと思う本に出会うことができた！」「今すぐに借りてみたい！」という読書への前向きな姿勢を感じる事ができました。ご家庭でも、また読書に親しめるようご協力よろしくお願ひします。

